

# 訪問介護契約書

様（以下「利用者」と略します。）と株式会社D.pods（以下「事業者」と略します。）は、事業者が提供するサービスの利用などについて、以下のとおり契約を締結します。

## （契約の目的）

1. 1 事業者は、介護保険法（平成9年法律第123号）その他関係法令およびこの契約書に従い、利用者が可能な限り居宅においてその有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう、次のサービスを提供します。

◇訪問介護

## （契約期間）

2. 1 この契約の期間は、以下のとおりとします。  
令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日  
ただし、契約期間満了日以前に利用者が要介護状態区分の変更の認定を受け認定有効期間の満了日が更新された場合には、変更後の要介護認定有効期間満了日までとします。
- 2 上記契約期間満了日までに利用者から契約更新しない旨の申し出がない場合本契約は自動的に更新されるものとします。

## （個別サービス計画の作成および変更）

3. 1 事業者は、利用者の日常生活全般の状況、心身の状況および希望を踏まえ利用者の居宅サービス計画の内容に沿って、サービスの目標および目標を達成するための具体的サービス内容などを記載した個別サービス計画を作成します。個別サービス計画の作成に当たっては、事業者はその内容を利用者に説明し同意を得て交付します。
- 2 事業者は、計画実施状況の把握を適切に行ない、一定期間ごとに目標達成の状況などを記載した記録を作成し、利用者に説明の上、交付します。

## （提供するサービスの内容およびその変更）

4. 1 事業者が提供するサービスのうち、利用者が利用するサービスの内容  
利用回数、利用料は、契約書別紙（兼重要事項説明書）のとおりです。
- 2 利用者は、いつでもサービスの内容を変更するよう申し出ることができます。  
この申し出があった場合、当該変更が居宅サービス計画の範囲内で可能であり、第1条に規定する契約の目的に反するなど変更を拒む正当な理由がない限り、速やかにサービスの内容を変更します。
- 3 事業者は、利用者が居宅サービス計画の変更を希望する場合は、速やかに介護支援専門員に連絡するなど必要な援助を行ないます。
- 4 事業者は、提供するサービスのうち、介護保険の適用を受けないものがある場合には、そのサービスの内容および利用料を具体的に説明し、利用者の同意を得ます。

## （利用料などの支払い）

5.

- 1 利用者は、事業者からサービスの提供を受けた時は、契約書別紙（兼重要事項説明書）の記載に従い、事業者に対し利用者負担金を支払います。
- 2 利用料の請求や支払方法は、契約書別紙（兼重要事項説明書）のとおりです。
- 3 利用者が、契約書別紙（兼重要事項説明書）に記載の期日までにサービス利用の中止を申し入れなかった場合、利用者は事業者へキャンセル料を支払うものとします。ただし、体調や容体の急変など、やむを得ない事情がある場合は、キャンセル料は不要とします。

#### （利用料の変更）

6.

- 1 事業者は、介護保険法その他関係法令の改正により、利用料の利用者負担金に変更が生じた場合は、利用者に対し速やかに変更の時期および変更後の金額を説明の上、変更後の利用者負担金を請求することができるものとします。ただし、利用者は、この変更に同意することができない場合には、本契約を解約することができます。

#### （利用料の滞納）

7.

- 1 利用者が正当な理由なく事業者に支払うべき利用者負担金を2ヶ月分以上滞納した場合は、事業者は利用者に対し支払い期限を定め、当該期限までに滞納額の全額の支払いがない時はこの契約を解約する旨の催告をすることができます。
- 2 事業者は、前項の催告をした場合には、担当の介護支援専門員および利用者が住所を有する市区町村などと連絡を取り、解約後も利用者の健康や生命に支障のないよう、必要な措置を講じます。
- 3 事業者は、前項の措置を講じた上で、利用者が第1項の期間内に滞納額の支払いをしなかった時は、文書をもって本契約を解約することができます。

#### （利用者の解約権）

8.

- 1 利用者は、14日以上予告期間を設けることにより、事業者に対しいつでもこの契約の解約を申し出ることができます。この場合、予告期間満了日に契約は解約されます。
- 2 利用者は、次の各号のいずれかに該当する場合は、前項の規定にかかわらず予告期間を設けることなく直ちにこの契約を解約できます。
  - 1 事業者が、正当な理由なく本契約に定めるサービスを提供せず利用者の請求にもかかわらず、これを提供しようとし不在の場合
  - 2 事業者が、第12条に定める守秘義務に違反した場合
  - 3 事業者が、利用者の身体・財産・名誉などを傷つけ、又は著しい不信行為を行なうなど、本契約を継続しがたい重大な事由が認められる場合

#### （事業者の解約権）

9.

- 1 事業者は、次の各号のいずれかに該当する場合は、文書により14日間の予告期間をもって、この契約を解約することができます。
  - 1 利用者が故意に法令違反その他著しく常識を逸脱する行為をなし、事業者の再三の申し入れにもかかわらず改善の見込みがなく、本契約の目的を達することが著しく困難となった場合

- 2 利用者が事業者の通常の事業の実施地域外に転居し、事業者においてサービスの提供の継続が困難であると見込まれる場合
- 2 事業者は、前項によりこの契約を解約する場合には、担当の介護支援専門員および必要に応じて利用者が住所を有する市区町村などに連絡を取り、解約後も利用者の健康や生命に支障のないよう、必要な措置を講じます。

(契約の終了)

10.

- 1 次の各号のいずれかに該当する場合は、この契約は終了します。
  - 1 第2条第2項に基づき、利用者から契約更新しない旨の申し出があり、契約期間が満了した場合
  - 2 第8条第1項に基づき、利用者から解約の意思表示がなされ、予告期間が満了した場合
  - 3 第6条もしくは第8条第2項に基づき、利用者から解約の意思表示がなされた場合
  - 4 第7条に基づき、事業者から解約の意思表示がなされた場合
  - 5 第9条に基づき、事業者から解約の意思表示がなされ、予告期間が満了した場合
  - 6 利用者が介護保険施設へ入所した場合
  - 7 利用者が特定施設入居者生活介護又は認知症対応型共同生活介護若しくは地域密着型特定施設入居者生活介護を受けることとなった場合
  - 8 利用者が小規模多機能型居宅介護を受けることとなった場合
  - 9 利用者が看護小規模多機能型居宅介護を受けることとなった場合
  - 10 利用者の要介護状態区分が要支援又は自立となった場合
  - 11 利用者が死亡した場合

(損害賠償)

11.

- 1 事業者は、サービスの提供にあたり、利用者又は利用者の家族の生命・身体・財産に損害が発生した場合は、速やかに利用者又は利用者の家族に対して損害を賠償します。ただし、当該損害について事業者の責任を問えない場合はこの限りではありません。
- 2 前項の義務履行を確保するため、事業者は損害賠償保険に加入します。
- 3 利用者又は利用者の家族に重大な過失がある場合、賠償額を減額することができます。

(守秘義務)

12.

- 1 事業者および事業者の従業者は、サービスの提供にあたって知り得た利用者又は利用者の家族の秘密および個人情報について、正当な理由がない限り、契約中および契約終了後においても、第三者には漏らしません。
- 2 事業者は、事業者の従業員が退職後、在職中に知り得た利用者又は利用者の家族の秘密および個人情報を漏らすことがないよう必要な処置を講じます。
- 3 事業者は、利用者および利用者の家族の個人情報について、利用者の居宅サービス計画立案のためのサービス担当者会議並びに介護支援専門員および居宅サービス事業者との連絡調整において必要な場合に限り、必要最小限の範囲内で使用します。
- 4 第1項の規定にかかわらず、事業者は、高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に

対する支援などに関する法律（平成17年法律124号）に定める通報ができるものとし、その場合事業者は秘密保持義務違反の責任を負わないものとします。

（苦情処理）

13.

- 1 利用者又は利用者の家族は、提供されたサービスに苦情がある場合は、契約書別紙（兼重要事項説明書）に記載された事業者の相談窓口および関係機関に対して、いつでも苦情を申し立てることができます。
- 2 事業者は、提供したサービスについて、利用者又は利用者の家族から苦情の申し出があった場合は、迅速かつ適切に対処し、サービスの向上および改善に努めます。
- 3 事業者は、利用者が苦情申立を行った場合、これを理由としていかなる不利益な扱いもいたしません。

（サービス内容などの記録の作成および保存）

14.

- 1 事業者は、サービスの提供に関する記録を整備し、完結の日から5年間保存します。
- 2 利用者および利用者の後見人（必要に応じ利用者の家族を含む）は事業者に対し、いつでも前項の記録の閲覧および複写を求めることができます。ただし複写に際しては、事業者は利用者に対して、実費相当額を請求できるものとします。
- 3 事業者は、契約の終了にあたって必要があると認められる場合は、利用者の同意を得た上で、利用者の指定する他の居宅介護支援事業者などへ、第1項の記録の写しを交付することができるものとします。

（契約外条項）

15.

- 1 本契約に定めのない事項については、介護保険法その他関係法令の定めるところを尊重し、利用者および事業者の協議により定めます。

以上のとおり、居宅介護サービスに関する契約を締結します。

上記契約を証明するため、本書2通を作成し、利用者および事業者の双方が記名・押印の上、それぞれ1部ずつ保有します。

令和 年 月 日

（利用者）私は、この契約内容に同意し、サービスの利用を申し込みます。

利用者 住所 \_\_\_\_\_  
氏名 \_\_\_\_\_

（代理人・代筆者）※代筆でない場合は記入不要

私は、利用者本人の契約の意思を確認の上、本人に代わり、上記署名を行ないました。

署名代行者 住所

氏名

続柄

(事業者)

私は、利用者の申込みを受諾し、この契約書に定める各種サービスを、誠実に責任もって行ないます。

事業者 住所 東京都世田谷区上馬1-33-16-301

事業者（法人名） 株式会社D.pods

事業所名 @コレモ訪問介護

代表取締役 中村 大地

管理者 堀川 順代